演習 II

科目ナンバリング　SEM-302
必修　　2単位

井上　一郎

1. 授業の概要（ねらい）

新卒の就職活動という、人生に一度しかないチャンスを大いに活かして欲しいと考え授業を進めます。
就職活動のハウツーを指導するものではなく、自分の適性に合った企業の探し方、企業分析の基本の勉強、学生時代の過ごし方を徹底的に考えます。
具体的には、業界研究、自分の好きな仕事内容、学生時代に取り組んだこと、自己ピーアールについて整理、各自10社以上志望企業をリストアップすることから始めます。授業は、講義とグループ活動と二本立てで進めます。
講義は現状の就職活動環境について説明した上で、業界研究や仕事の種類、自己ピーアールや志望動機作成に当たってのポイント、そして当該企業のホームページや有価証券報告書の見方や成長性、収益性、安定性といった企業分析について述べて参ります。

グループ活動は、ゼミ員を3グループに分け、グループとしての対象企業を選定し、企業研究をして、就職候補先としてどう考えるのかを討議し、それら内容をパワーポイントを作成してグループ代表者が発表します。そして、グループ員各自が当該企業に向けた志望動機と自己ピーアールを作成して一人ひとり発表してもらいます。
これらグループ活動を通じて、コミュニケーション能力やグループ内での自分の立ち位置の認識、そしてプレゼンテーション能力といったものを培って欲しいと考えています。

就職活動は、情報収集とその的確な分析、そして戦略立案と積極的な行動によって結果が生まれてくるものであり、この醍醐味を理解し、チャレンジする姿勢を培っていただきます。

2. 授業の到達目標

就職活動において主体性をもって、論理的な企業研究を通じて志望企業を絞り込んでいくことや、志望企業に対しての志望動機やどんな仕事に取り組んでみたいかといった自分の考え方を確立し、さらに自分の言葉で表現出来るといったところを到達目標にしたいと考えています。そして自分の将来を考え、就職活動に対するモチベーションを高めることが出来るようにします。

3. 成績評価の方法および基準

①授業の聴講姿勢
②グループ活動の参加姿勢
③各課題提出レポート内容
④グループ活動発表姿勢と内容
⑤期末の小論文テスト=当日課題を与え、400字以上800字以内で小論文を提出、以上5項目を、総合的に評価します

4. 教科書・参考文献

参考文献
遠藤功　ざっくりわかる企業経営のしくみ　日本経済新聞出版社
大江英樹　知らないと損する経済とおかねの超基本1年生　日経ビジネス人文庫

5. 準備学修の内容

以下各課題について、授業で説明の上、次回授業までに期限厳守でLMS上にレポート提出してもらいます。
①経済学部で一番興味の持てた授業とその授業で何を学んだか(もし、経済学部でどうしても無いということであればその他でも可)。学んだ内容と理由も詳細に明記。
②自分の好きな仕事、あるいは取り組んでみたい仕事、将来のキャリア展望について、それぞれその理由
③志望企業10社以上リストアップと各社選定理由(業種、インターン有無、仕事内容と志望職種、採用スケジュール、その他)
④学生時代に取り組んだこと、どの様に成長したか、さらにどの様に成長したいと考えているか、その為の今後の取り組み計画
⑤グループ活動の研究企業に対する志望動機
⑥グループ活動の研究企業に対する自己ピーアール
⑦グループ活動の研究企業の経営分析(成長性、安定性、収益性等)
⑧私が与えたテーマに対するレポート提出

6. その他履修上の注意事項

①企業分析、日本経済状況について強い興味を持っていること
②グループ討議等を通じて、グループに働きかける積極性や協調性を身に付けたいと考えていること
③プレゼンテーション資料の作成や発表技法等を学びたいと考えていること
④就職活動に役立つ企業研究手法を身に付けたいと考えていること

7. 授業内容

【第1回】　前期で習得した内容の確認と反省、反省を踏まえ、その内容に関する講義スケジュールを検討。
前期のグループ活動内容も踏まえ、グループメンバーを入れ替え、各グループリーダーを決定。
課題:自己PRについて次回授業で各自発表。発表方法は手ぶらで、ジェスチャーも交えアピールする。言葉は大人の言葉で面接を意識。以前作成したものを校正しておくと共に、自宅で発表の練習をするように指導。

【第2回】　各自自己PR発表、一人3分以上5分以内が目途。自己PR作成の素材となった自己分析(中学から高校から大学時代を振り返る)や自己理解(自分の強み・弱みを整理しよう)を含め、原稿無しで、手振り身振りも含め、熱く自分をアピール。そして質疑応答。
ゼミ員全員からの質疑応答と、講評。
課題:各自就職候補先10社以上を作成。次回授業の前日18時までに各自就職志望企業候補10社以上を選定し、各社の業種やインータンの有無、採用スケジュール等、そして各社の簡潔な志望理由を記入したレポートをLMS経由で提出。

【第3回】　就職活動における企業研究の基礎知識として、「変わり続ける時代の企業経営」「経営理念と企業の価値観」、いずれも「ざっくりわかる企業経営のしくみ」遠藤功著(日経文庫)を参考図書として作成した資料を用い、講義します。
課題:自分の好きな仕事、あるいは取り組んでみたい仕事、将来のキャリア展望について、それぞれその理由を作成。提出は次回授業の前日18時まで。

【第4回】　前期の反省を補足する講義(もし必要であれば)
グループ討議:各自作成の10社以上リストを持ち寄り、グループ毎研究企業を1社選定。
グループ毎、対象企業の企業理念、会社概要、事業内容、企業の特徴、他社との差別化、今後の業界や企業の方向性、人事・教育研修制度、求める人材像等を把握。
課題:就職活動等に関する新聞記事を使って課題を与えます。例えば記事の要約と意見をそれぞれ200字以内で書いてLMS経由レポート提出といった形です。提出期限は次回授業前日18時まで。

【第5回】　グループ討議「選定企業の企業研究」
企業研究を踏まえた、志望動機と自己PRの作成についてグループディスカッション。グループメンバー全員がキッチリと意見を言うようにグループ長はリーダーシップを発揮。
課題:企業研究を踏まえて、各自志望動機と自己PRをそれぞれ400字程度で作成し次回授業の前日18時までにLMS経由レポート提出。

【第6回】　グループ討議:選定企業の企業研究と各自の志望動機と自己PRについてディスカッション、次回発表に向け準備。
発表者の決定、発表方法や内容の打ち合わせ、パワーポイント資料とUSBメモリー作成等。

【第7回】　グループ発表各10分程度、グループ発表後、構成員各自が研究対象企業向けの志望動機と自己ピーアールを私との面接形式で発表。私は研究対象企業の人事部員の設定で模擬面接。発表に当たっては極力原稿を見ないように指導。ゼミ員は見学して面接の参考とする。
グループ発表と面接に関して講評。

【第8回】　前回のグループ発表と、各自の研究対象企業向けの志望動機と自己PRの私との面接を継続。
課題:「Tworkの6.学業で力を注いだことについて書いてみよう」を250字以内でLMS経由レポート提出。期限は次回授業前日18時。
次回授業で本テーマを題材に、一人ひとりと私が模擬面接。

【第9回】　グループ討議:グループ討議:各自作成の10社以上リストを持ち寄り、グループ毎研究企業を1社選定。
グループ毎、対象企業の企業理念、会社概要、事業内容、企業の特徴、他社との差別化、今後の業界や企業の方向性、人事・教育研修制度、求める人材像等を把握。
「Tworkの6.学業で力を注いだことについて書いてみよう」を題材に、一人ひとりと私が模擬面接。

【第10回】　企業研究を踏まえた、志望動機と自己PRの作成についてグループディスカッション。グループメンバー全員がキッチリと意見を言うようにグループ長はリーダーシップを発揮。
課題:「Tworkの7.学生生活で力を注いだことについて書いてみよう」を400字以内でLMS経由レポート提出。期限は次回授業前日18時。

【第11回】　グループ討議:選定企業の企業研究と各自の志望動機と自己PRについてディスカッション、次回発表に向け準備。
発表者の決定、発表方法や内容の打ち合わせ、パワーポイント資料とUSBメモリー作成等。
課題:企業研究を踏まえて、各自志望動機と自己PRをそれぞれ400字程度で作成し次回授業の前日18時までにLMS経由レポート提出。

【第12回】　グループ発表各10分程度、グループ発表後、構成員各自が研究対象企業向けの志望動機と自己ピーアール、そして学生生活で力を注いだことを私との面接形式で発表。私は研究対象企業の人事部員の設定で模擬面接。発表に当たっては極力原稿を見ないように指導。ゼミ員は見学して面接の参考とする。
グループ発表、面接に関して講評。

【第13回】　前回のグループ発表と、各自の研究対象企業向けの志望動機と自己PRの私との面接を継続。
課題:今までの授業で特に役に立ったことと、要望や質問、その他について600字以内で次回授業の前日18時までにLMS経由レポート提出

【第14回】　皆さんの役に立ったや要望や質問に対して、回答。
その他、質疑応答。

【第15回】　ゼミ活動の到達目標達成度合いを確認する小論文テスト(400字以上800字以内で小論文を提出)を実施。
ゼミ活動1年間を振り返り、到達したことの確認と反省の打ち合わせ。
就職活動本番に向けて最後の確認を講義します。